

あさざいだより

平成 28 年 7 月 夏号 No.11

安佐在宅診療クリニック

〒731-0103

広島市安佐南区緑井6丁目 37-5

TEL 082-831-6306

FAX 082-831-6307

http://asa-zaitaku.jp/



今年の梅雨も西日本では雨が多く、また災害が続いています。その中で私たちを元気づけてくれるのはカープの快進撃です。昔の強かった、常勝カープと呼ばれていた時代に成し遂げた 11 連勝に並ぶ勢い、あの頃を凌ぐ打撃力と、あの頃に追いつきそうな投手力を備えて、ベテラン、若手が一丸となって突き進む姿は、25 年ぶりの優勝を思わずにはいられません。と言いながらも、20 年前、巨人にメクドラマと言わしめた 11.5 ゲーム差をひっくり返されて優勝を逃したことを知っているカープファンは、まだまだ油断することはできないと思っています。広島での野球中継視聴率はのきなみ 30%を越え、カープが広島市民みんなの関心ごとになっていますが、闘病生活を送る患者様にとっても同様に、たくさんの方がカープに元気をもらい、励まされています。是非広島市民悲願の 25 年ぶりの優勝を、オリンピックの感動ののちに味わいたいものです。頑張れカープ！

呼吸器豆知識

前回は結核についてお話ししましたが、それに続き非結核性抗酸菌症についてお話ししましょう。結核は酸に対して抵抗性を示す細菌で抗酸菌属に属しますが、結核菌以外の抗酸菌を総称して非結核性抗酸菌と言います。これによって起きる疾患を非結核性抗酸菌症と言います。非結核性抗酸菌は結核と違って人から人には移らないので排菌者の隔離や保健所への届け出などは要りませんが、この菌は土壌や水回りなどに生息しており、人への感染は自然環境から生じるため、実は知らない間にかかっている人が結構おり、知っておいた方がいい疾患です。元々は弱い菌なので、ベースに肺疾患を抱えている人や、免疫力の落ちた人が日和見感染症としてかかるものと考えられていましたが、最近基礎疾患のない元気な中高年女性の罹患が顕著で、原因ははっきりわかっていません。女性が台所仕事など水を触る仕事が多いからではないかとも言われますが、家庭菜園など土いじりをする人が多いからではないかとも言われています。最近いくつかの遺伝子の変異がこの病気へのかかりやすさと関係があるのではないかと研究が進められています。実際非結核性抗酸菌症の患者が昔に比べて増えているという印象を持っている呼吸器科医は多いですが、現在10万人に対して8人くらいの罹患率の一方で有病率はその6~10倍と言われ、世界で最も高い数字になっています。これは結核と比べて薬剤効果が劣るため治療期間も長く、治癒と断定できない症例が多いため、国全体で患者の累積が起きているためと考えられます。この病気は初期では無症状のことが多く、検診の胸写で見つかる人もいますが、進行してくると結核同様の症状、咳、痰、血痰、息切れ、発熱、体重減少などが出現します。現在150菌種以上ある非結核性抗酸菌の中で、日本では7割がマックと言う菌種、2割がカンサシ、残りのわずかがアブセッサスと言う菌種になります。肺マック症は症例ごとに病勢の進展や治療反応性、予後が様々で、診断基準を満たしてもその後自然軽快してしまう例がある一方、軽症と思われた例が1-2年で進行性病変を示したり、治癒したと思われても1-数年後に増悪する例も稀ではありません。よって治療開始時期や治療薬の選択、治療期間などの決定が難しいですが、マック菌が原因と診断された場合、症状や肺の影が悪化してくる時は治療を行います。抗結核薬を含む3剤を、少なくとも1年半は飲む必要がありますが、薬の効きにくい人もいたり、菌が完全に消えることは稀で、治療終了後も再発しないか定期的に画像検査を行う必要があります。再発すれば治療を再開します。高齢者では副作用も考え対症療法のみになることもあります。一方カンザシ菌は一番病原性も強く結核菌に似ているぶん、肺結核と同様の治療を行います。効果も期待できます。いずれにしても非結核性抗酸菌症は長期間の経過観察、治療を必要とし、治療中断例や再発例も多く、じわじわと肺を蝕んでいくので、ある意味結核よりもたちが悪いとも言えます。いつどこでかかるかわからないので難しいですが、気を付けられることとしたら水回りをきれいにする、土いじりを少し控えることくらいでしょうか。



森谷院長の1日

今回は、森谷院長の1日をレポートします。

8:10 出勤 FAX やメールでの報告書の
チェックをします。

8:40頃 クリニックを出発します。

患者様のお宅を訪問します。



車の中は、携帯酸素ボンベ
や超音波など検査機器と、
患者様へ支給する物品
など、たくさんの荷物が
載っています。

診察中
です



物品や薬品管理も
しています。



優勝じゃ～！

クリニックに戻ってから、処方箋を発行、カルテを書きます。
その間にも、報告のFAXや電話等を受け、必要であればお薬の
処方をしたり、処置の指示を出したり、翌日往診の患者様の
検査依頼を出したりと、たくさん仕事があります。

こうして、あっという間に夕方(…夜?)に。

その後も、勉強会、会議などに参加することもあり、
夜遅くまで頑張ります。

家に帰ったら、今の時期はカープのテレビ観戦もしくは、試合結果の
チェックを怠りません\(^o^)/女子バレーボールやサッカーも大好きです。
ニュースも忘れません。そして、夜かかった電話のカルテ書きをして
またまたパソコンで報告をチェックし、1日は終わり、また明日へと続くのです。

わたしも
カープ女子です

勤務医として長年勤務していて、急性期の状態が落ち着いても、家に帰れず、やむなく長期の入院となっ
ている患者様がたくさんおられるのをみて、在宅で質の高い医療を提供してあげられたらとどんなにいいだ
ろうと感じて、在宅療養診療所としてクリニックを立ち上げました。患者様やご家族との信頼関係を築きなが
ら、患者様の人間としての尊厳を大切に、想いを聴き、会話し、十分説明し、一緒に療養方針を作りなが
ら、患者様自身が主人公の医療を提供し、その中でご自宅で過ごせる喜びやご家族に囲まれていること
の安心をともに感じながら、在宅療養を支援します。いつでも相談でき、安心を提供できる主治医になれ
ば幸いです。